

平成 29 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業（精神障害分野））
分担研究報告書

「630 調査結果の新しい精神保健福祉資料への活用に関する検討」

分担研究者 山之内 芳雄（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神保健計画研究部・部長）

研究協力者 西 大輔（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神保健計画研究部・室長）

研究要旨：近年 ナショナルデータベース(NDB)等が活用されるようになってきたことから、重要な指標についてはNDBのデータに基づきつつ、NDBでは把握できない指標について630調査等の結果を適切に組み込み、精神保健医療福祉の現況を一元的に把握できる新しい精神保健福祉資料を作成するため本研究を行った。630調査の結果の一部を参考指標として組み込んだ「平成29年630調査速報版を用いた都道府県職員向け精神疾患に係る医療計画等策定の作業マニュアル」を、平成29年12月4日に厚生労働科学研究班「精神科医療提供体制の機能強化を推進する政策研究」から公開し、自治体の地域医療計画や障害福祉計画等の策定にこれまで以上に貢献できる新しい精神保健福祉資料の主要部分を完成した。

A. 研究目的

これまでの精神保健福祉資料は630調査のアンケート結果のみに基づいていたため、公表の遅延や、定義の不確実性等の課題を抱えていた。しかし近年ナショナルデータベース(NDB)等が活用されるようになってきたことから、新しい精神保健福祉資料は重要な指標についてはNDBの実診療データに基づきつつ、NDBでは把握できない指標を630調査やその他の公的なデータソースから組み込むことで、精神保健医療福祉の現況を一元的に把握できるようにして、自治体の地域医療計画や障害福祉計画等の策定にこれまで以上に資することができるように改善することが予定されている。

本研究は、630調査の結果を新しい精神保健福祉資料に適切に組み込むことを目的とした。

B. 研究方法

医療計画において、精神疾患に関する指標は、目的に応じて重点指標と参考指標に区分されている。重点指標とは、各都道府県が医療提供体制の現状を客観的に把握し、体制構築の参考とする指標であり、医療圏域において領域ごとの診療実績のある医療機関数、地域包括ケアの進捗状況を評価するアウトカム指標（退院率、再入院率等）

などが該当する。一方で参考指標とは、必要に応じて重点指標の理解を深めるために参照する指標であり、各精神疾患領域の患者数などが該当する。

新しい精神保健福祉資料では、原則的にストラクチャ・プロセス指標についてはNDBから抽出したデータに基づいて作成しつつ、アウトカム指標の一部等について630調査の結果を活用し、双方を自治体・医療機関等のユーザーに理解しやすく整合性のとれた形で提供することを図った。

（倫理面への配慮）

新しい精神保健福祉資料の公開に関しては「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を念頭に置いた。また、氏名・年齢は一切聞いていない。

C. 研究結果

630調査の結果の一部を参考指標として含めた「平成29年630調査速報版を用いた都道府県職員向け精神疾患に係る医療計画等策定の作業マニュアル」を、平成29年12月4日に厚生労働科学研究班「精神科医療提供体制の機能強化を推進する政策研究」から公開した。また、29年精神保健福祉資料に上記により得られたデータを提供した。

D. 考察

精神保健医療福祉の現況を一元的に把握できる新しい精神保健福祉資料を作ったことで、自治体の地域医療計画や障害福祉計画等の策定にこれまで以上に貢献できるようになった。

E. 結論

NDB では把握できない指標について 630 調査等の結果を適切に組み込み、精神保健医療福祉の現況を一元的に把握できる新しい精神保健福祉資料の主要部分を完成した。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 西大輔，白杵理人，萱間真美，山之内芳雄：630 調査と精神保健福祉資料.
日本精神病院協会誌, 36(11):35-41, 2017.
- 2) 山之内芳雄：多様な精神疾患に対応した医療提供体制 指標も交えて. 日本精神病院協会誌, 36(11):20-24, 2017.

2. 学会発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

該当せず